

彩雲

あ や ぐ も

AYAGUMO

2016

vol. 114

発行日 2月19日

Contents

巻頭言……………	1
卒業生へのメッセージ……………	2
11月～1月の行事……………	3～5
響きあうまちと学校……………	6
東北ボランティア活動……………	7～8
クラブ活動報告……………	9～10
TOPICS……………	11

ANJO GAKUEN



学校法人安城学園 安城学園高等学校

〒446-8635 安城市小堤町4-25 TEL.0566-76-5105(代) <http://www.angaku.jp/>

最初の質問

長田 弘

今日あなたは空を見上げましたか。
空は遠かったですか、近かったですか。
雲はどんな形をしていましたか。
風はどんなにおいしかったですか。
あなたにとって、いい一日とはどんな一日ですか。
「ありがとう」という言葉を今日口にしましたか。

窓の向こう、道の向こうに、何が見えますか。
雨の滴をいっぱいためたクモの巣を見たことがありますか。
榎の木の下で、あるいは樺の木の下で、
立ち止まったことがありますか。
街路樹の木の名前を知っていますか。
樹木を友人だと考えたことがありますか。
この前、川を見つめたのはいつでしたか。
砂の上に座ったのは、草の上に座ったのはいつでしたか。
「美しい」と、あなたがためらわず言えるものは何ですか。
好きな花を七つ、挙げられますか。
あなたにとって「わたしたち」というのは、だれですか。

夜明け前に鳴き交わす鳥の声を聴いたことがありますか。
ゆっくりと暮れていく西の空に祈ったことがありますか。
何歳の時の自分が好きですか。
上手に年を取ることができると思いますか。
世界という言葉で、まず思い描く風景はどんな風景ですか。
今あなたがいる場所で、耳を澄ますと、何が聞こえますか。
沈黙はどんな音がしますか。
じっと目をつぶる。すると何が見えてきますか。
問いと答えと、今あなたにとって必要なのはどちらですか。
これだけはしないと心に決めていることがありますか。
いちばんしたいことは何ですか。
人生の材料は何だと思いますか。
あなたにとって、あるいはあなたの知らない人々にとって、
幸福って何だと思いますか。
時代は言葉をないがしろにしている。
あなたは言葉を信じていますか。

「最初の質問」(詩・長田弘 絵・いせひでこ 2013.7.25 講談社)より

夜、寝る時に自分の本を読みなさい

(創立者 寺部 だい先生の言葉)

「夜、寝る時に自分の本を読みなさい」というのは創立者寺部だい先生の言葉です。人生において大切なものの一つは「振り返り」です。今日の日がどんな一日であったか、この一週間がどんな一週間であったか、振り返ることによってやるべきことが見えてきます。

今をどう生きているか、そして大切なものを大切にしているか、本当に大切なものは何か、いちばんしたいことは何か、長田 弘さんの「最初の質問」は振り返ること、考えることの大切さを指摘しています。自分のことだけでなく、まわりにいる人たちのこと、世界中の国々の人たちのこと、自分がお世話になった人たちのこと、一番大切にしたい家族のこと、東北の復興、世界の平和、日本の進路など考えるべきことはたくさんあります。そして考えることは今を生きる私たちの責務です。みんなが幸せを感じ、次の世代の人たちに誇れる未来を贈るのが私たちの大切な仕事です。一日の中に、どんなに忙しくても“振り返る”“考える”という時間をつくることを意識して下さい。

いろいろな人が笑い、歌い、響き合う、そんな社会の実現をめざして共に時間を使っていきましょう。



安城学園高等学校
校長 坂田 成夫

卒業生へのメッセージ



3年学年主任
桃木 雅代

卒業を迎えた今、皆さんはどんなことを思い出しているでしょうか。3年前、不安と期待が入り交じった気持ちで迎えた入学式。さまざまな場所から集った新しい仲間との出会いは、皆さんの高校生活に大きな影響を与えたのではないかと思います。大芝荘、阿南少年の家、駒ヶ根ふるさとの家で始まったフレッシュマンキャンプでは、名前しか知らないクラスメイトと討議をしたり、仲間の話を聞いたり、寝食を共にしました。合宿を通じて、クラスの絆が深まったのではないのでしょうか。また、アシスタントで来てくれていた3年生の話聞いて、3年後の自分を考え夢や憧れを持ったと思います。今、その時考えた自分になれているでしょうか？その時描いた夢は実現していますか？夢や希望は抱いたときこそ鮮やかに自分の活動の糧となりますが、時間が経つにつれてどうしても現実生活に押し流され、実現する前に見失ってしまいます。それでも、3年前に皆さんが抱いた夢や希望の種はまだ心の中にあるはず。卒業を機にもう一度その種を見つけて、今後の新たな目標の糧にしたいと思います。

皆さんは3年間、学年集会などで集合する時に時間通りきっちり集まることができました。2年生の後半からは代表者会議が中心となって声かけを行い、集合時間よりも早く集まることができていました。そして集会では、前に立つ先生や仲間の話をしっかり聞いてくれました。皆さんが社会に出た時、最初に必要なのは「人の話を聞くこと」です。知らないこと、初めてのことに對して、どうしていいかわからない時、人は誰かに尋ねます。尋ねられた人は、相手にわかるように教えてくれます。その時にしっかりと話を聞けるかどうかは皆さんが社会に出ていく上で必要な力です。皆さんにはその力があります。それを信じて下さい。部活動、学習、修学旅行、学校行事、生徒会、自主活動など高校3年間で皆さんが関わった学校生活の中で、友達や先輩後輩との人間関係、超えられない壁にあたって辞めたいと思った気持ち、何事かを成し得た達成感など様々な面で自分の気持ちが揺れ動くことが多々あったと思います。その全ては、皆さんにとって大切な思い出であり、かけがえのない宝物です。どうか大切にしていってください。

皆さんの高校生活は、たくさんの人の支えで成り立っています。保護者、家族、友達、先生、クラスメイト、部活の仲間、先輩、後輩、地域の人たち—すべての人の出会いがあればこそここにいられるのです。3年間の大きな支えに心から感謝し、それを忘れないでください。感謝の言葉は

出し惜しみしてはいけません。「ありがとう」「助かったよ」「うれしい」言葉にすれば、その言葉が心に蓄積し大きな力となります。その力を支えにして、次は自分が誰かを支えられる人になってください。

2015年は「戦後70年」の節目の年でした。終戦当時、皆さんと同じ年齢だった方は今年89歳になります。日本が戦争をしていたことを知らない世代がほとんどとなった世の中で、戦後70年の節目に自分の戦争体験を語られた方々がいいます。若い世代に平和であることの尊さを伝えておきたい。先人達は、若い皆さんが自分の未来に希望を持って前を向いて生きていくことを強く望んでいます。その思いは、皆さんにも届いているでしょうか。『灯は平和に似ている。守ろうとしないと消えてしまう。灯が平和が消えてしまうと社会が暗くなってしまふ。』この夏、平和の灯を広島から、復興の火を石巻から運んだ高校生の言葉です。皆さんの中にも、暑さに耐えて自転車リレーに参加した人たちがいます。挫けそうになる自分との戦い、さまざまな出会い、支えてくれる人々への感謝、そこで目にした風景—かけがえのない体験だったと思います。高校生が行動したことは、世間を励ましています。自分が感じたこと、思ったことを行動に移すことを躊躇わないでいてください。そして今の自分よりも一歩前に出て行動することで見える、新しい景色を楽しめる人になって欲しいと思います。

人生は「選択」の連続です。そして、その「選択」には学校の試験のように「選択肢」が用意されていることはありません。その場の状況に応じて、適切な判断を瞬時に下さなければなりません。常日頃から、その時自分の判断基準になるものを自分の中に用意することが必要になります。判断に迷ったときには「人と繋がる方へ決断する」方を選んでください。自分の世界に向いている閉じた決断は可能性をも閉じてしまいます。そしてまた自分が決断したことが間違っていると思ったときに勇気を持って修正できる、そんな大人になって欲しいと思います。18歳選挙権も始まりました。皆さんの選択がこの国の行方を決めていきます。世の中に無関心であれば、自分が得られるはずの幸福から背を向けられることもあるかもしれません。自分以外の人の選択を尊重し、思いやりと尊敬の念を持って接していけば、皆さんの人生も豊かなものになると思います。

今日で皆さんとお別れです。寂しいですが、皆さんのこれからの最初の一歩でもあります。前を向き、胸を張って最初の一歩を踏み出してください。安城学園高校はいつでもここにあります。皆さんが困ったとき、嬉しいとき、ここへ来て自分の原点を見つめてまた前を向いていける場所です。いつでもここへ来て下さい。皆さんの平和で明るく輝かしい未来に心からYaleを送りたいと思います。皆さん、卒業おめでとうございます。



11月～1月の行事

彩雲展

2015年11月18日(水)～23日(月)
安城市文化センター美術展示室

3年生こども教育芸術コース、カリキュラムゼミ日本画及び洋画選択者による「彩雲(あやぐも)展」が11月18日から23日、安城市文化センター美術展示室にて開催されました。今年度で第6回目の開催になります。



3年

石川 結菜

竜海中学校出身



彩雲展に自分の作品を出展して、絵を客観的に見ることで、描いているときには気付かなかった作品の良いところや、これからの作品の製作で気を付けた方がいいところなどを見つけることができました。

また、色々な人の力のこもった作品を近くで見ることで、その人の作品によってそれぞれ見習うべきところがたくさんあり、自分の作品にも生かしていきたいと思いました。

今回の作品展では、自分のためになる発見が多くでき、とても勉強になりました。大学でも絵の勉強を続けていくので、この経験は自分にとって有意義なものになったと思います。

3年

沖田 あかり

寺津中学校出身



私は、ただ家があるだけの風景を描いても、自分自身、技術も無いし、なんなら見る人も楽しくなる夢のある絵を描こうと思い、この絵になりました。いろんな表情をしているキャラクターや、よくわからない植物を描いたり、私自身も絵を楽しめて良かったと思います。けれど、私は作品を計画通りに進められたことがないので、何回も居残りしましたが、正直完成したという気持ちは全くないです。でも残った時間でかなり頑張ったので、そこは自分を誉めたいです。同じ教室に居た団体の人にもらったケーキがとても励みになりました。彩雲展では、みんなの個性溢れる絵を見て、とても勉強になりました。大学でも油絵を書くので、この経験は決して無駄にないと思います。良い経験になりました。

第16回2年生弁論大会～スピーチ2015～

2015年12月11日(金) 本校体育館

●弁論大会 最優秀賞「本当の勇氣」

2年

稲生 明司

依佐美中学校出身



僕はこの弁論大会で2つの戦いがありました。1つ目は、自分との戦いです。今まで気楽に言えていたことではなかったです。辛いことを皆に言うのには勇気がいりました。2つ目は、これからとの戦いです。自分のことを話した後に周りからどんな反応をされるのか、自分の見方や日常生活が変わってしまうのではないかと不安でした。しかし、弁論が終わった後の不安でいっぱいだった時、クラスの席に戻ると、「おつかれさま」「頑張ったね。すごかったよ。」と言ってくれるクラスメイトや先生方がいてくれました。中には感動してくれる人もいて、改めてこの弁論ができて良かったと心から思うことができました。そして、2つの戦いは自分だけでは乗り越えることはできなかったと思います。クラスの子をはじめとする多くの人が支えてくれたからこそ、素晴らしい弁論になりました。クラスの子や先生方に本当に感謝しています。

●国語科教諭 中村美弥子

各クラスから一人ずつ代表が選出され、15人の弁士が弁論を発表しました。どの弁士も自分の思いを伝えようと一生懸命話し、聴衆もその思いを真摯に受け止めようとする姿勢が現れていて、非常によい雰囲気の中で会が行われました。一人一人が各クラスでの発表を通じて、自分の気持ちを言葉にして伝えることの難しさや仲間へ受け止めてもらえる嬉しさを感じ、自分や仲間を見つめなおす経験をしてきたからこそ、よい弁論大会ができるのだと思います。国語科の大切な取り組みとして、今後も継続させていただきます。

最優秀賞

演題「本当の勇氣」

稲生明司(依佐美中学校出身)

優秀賞

演題「神愛・友愛・家族愛」

岡田カオリ(岡崎南中学校出身)

優秀賞

演題「私が勉強する理由」

池田 萌(刈谷南中学校出身)

特別賞

演題「願えば」

柳原 萌(福江中学校出身)

2年

磯貝 瑠花

福地中学校出身

弁論の授業は正直、初めはとても嫌でした。しかし、この授業を通して今までの自分と向き合えたり、クラスの子の過去やこの機会がなかったら知らなかったことがたくさん知れたりできて良かったです。自分の思いを言葉にして相手に伝えることの難しさや伝えることの大切さを学べた気がします。自分の思いをみんなに伝えられてよかったです。

2年

牧野 雅

土岐津中学校出身

自分の弁論を書くのは、なかなか内容が決まらず大変でした。自分に矢印を向けてみると、向き合いたくない自分がいたり、乗り越えた経験を思い出したり、たくさん思うことができました。この17年間を振り返った今回の弁論を通して、まずはあと1年の高校生活を後悔の無いよう送りたいと思いました。クラスの発表では、普段見ることのないクラスメイトの一面を見ることができたり、自分の弁論を真剣に聞いてくれるクラスへの安心感があったり、クラスの絆を深めるきっかけにもなったと思います。これから、この弁論での経験をいかして、生活していきたいです。

代表生徒

石黒穂乃佳(朝日丘中学校出身)

上村愛子(蒲郡中学校出身)

栗津ちなつ(刈谷南中学校出身)

成瀬由梨(足助中学校出身)

渡邊飛斗(翔南中学校出身)

山里和暉(東山中学校出身)

藤田彩夏(東山中学校出身)

白藤聖陽(矢作中学校出身)

内田奈友(福岡中学校出身)

東野 望(設楽中学校出身)

梅田侑渚(刈谷東中学校出身)



球技大会

2015年12月15日(火) 本校体育館

普通科3年7組が男女アベック優勝

3年

佐々木 順也

西尾東部中学校出身

僕たち3年7組は、男女アベック優勝をすることができました。どのクラスよりも試合をして、どのクラスよりも勝利という歓喜の瞬間を味わえた2日間はとても幸せでした。担任の大賀先生は、前回、3年生を持っていた時もアベック優勝をしているので、プレッシャーはありましたが、このクラスで再び優勝をプレゼントできて良かったです。何よりも2日目に残ったクラスが全て3年生で、3年の意地を見せつけることができました。各クラスが敵という境界線を越え、団結して球技大会を盛り上げることができて良かったです。決勝戦の周りの声援と緊張感は一生涯忘れない記憶になりました。

これで、3年生は全ての学校行事が終わり、残るは卒業フェスティバルと卒業式ですが、限られた残りの時間の中で、より良い思い出を作れればと思います。そして、この高校生活がこれからそれぞれが進む進路の通過点となるように生かしていきたいです。



3年

佐野 水香

雁が音中学校出身

私たち3年7組はアベック優勝することができました。最初から、みんながみんな完璧にできたわけではなく、優勝に向けて努力してきました。経験者を中心とし、苦手な子にアドバイスをしたり、安城や西尾の体育館を借りて一生懸命練習を重ねました。時には、クラスでうまくいなくてぶつかることもありましたが、何度も話し合いました。初めの方は優勝できるという実感は全くありませんでしたが、試合を重ねていくうちにクラスの団結も深まり、優勝へ近づくことができました。プレイだけでなく、応援にも力を入れました。辛い場面では応援が力となり乗り越えることができました。最後の球技大会でアベック優勝したことが高校生活1番の思い出になりました。

針供養

2016年1月20日(水) 西館視聴覚教室

安城学園を代表する大切な行事のひとつ、針供養が今年も厳肅な雰囲気の中で行われました。参加者は主に創作活動の洋裁、和裁の選択者や各クラスの代表者で、折れた針や曲がった針を豆腐に刺して、針への感謝を表し、同時に裁縫の上達を祈りました。そしてその後、2年生のエプロン優秀作品、3年生の洋裁・和裁選択者の作品発表会が行われました。どの作品も素晴らしいもので会場から感嘆の声と大きな拍手が湧き上がりました。



●生徒による感想

2年

久米 美歌

東浦北部中学校出身

エプロンを一つ完成させることは、簡単なことではありませんでした。私は細かいことをするのは好きでしたが、得意というわけではなかったので、布を切ったり針を使ったりする作業は、とても大変でした。切る線からはみ出したときは、悔しい気持ちになりました。針が指に刺さり痛い思いもしました。でも、諦めずに先生のアドバイスや、友達と確認して作業を進めて、エプロンを完成させることができました。完成するまでたくさんの苦労があったけれど、周りの人の助けや自分のエプロンを完成させたいという想いが、最後まで作り上げることに繋がったと思います。針供養で自分のエプロンを見せることによって少し自信もついたり、あらためて、諦めずに作り上げることができて本当に良かったと思いました。これからも自分で作ったエプロンを大事に使ってみたいです。

2年

柴田 香

知立中学校出身

私は幼い頃から針を使って物を作る事をしてきました。昔は手縫いで拙い作品しか作れませんでした。が、作る時、とてもワクワクして楽しかったのを覚えています。

高校生になって、本格的にミシンを使った作品や洋服を作るようになっていき、よくマチ針を曲げたり、ミシン針を折ったりするようになってしまいました。なので、針供養はいつも使ってる針に対して感謝をして、供養できる機会だと思いました。今回、司会を担当できてよかったと思っています。私は来年度洋裁を選択しており、将来は服飾系の職に就きたいと考えています。針は一生大事に行きたいですし、この針供養という行事を後輩にも大切にしていってほしいと思っています。



創作活動発表会

2016年1月22日(金) 安城市民会館サルビア大ホール／安城学園高等学校内



●幼児と体育遊戯

3年

古川 怜佳

末野原中学校出身

1年間ありがとうございました。私は元々子供が好きで保育士志望でしたので毎回の幼稚園実習が楽しみでした。終わった後はいつも全身筋肉痛で大変疲れましたが、すべて子供たちの笑顔で疲労が吹っ飛びました。しかし保育士はすごく大変な仕事だと実際に体験して改めて実感しました。それでも一人の男の子に実習の帰り「まだ帰らないで」とか「大好き、ギュする～」って抱きつかれたりしたことなどが一番嬉しかったです。絵本を作るのも人生初で、元々、図工が苦手な私はすごく苦労しましたが何とか全部完成できて良かったです。最後のステージ発表では、やはり自分たちが考えていた通りにはうまく園児を動かしたりできませんでしたが、みんなが楽しそうにダンスしているのを見られて幸せでした。最後の本番、思いっきり頑張り保育士の夢に近づきました。

●陶芸

3年

早川 愛巳

刈谷東中学校出身

最初は、粘土を触ったりするのは難しいと思いました。しかし日に日にやっていくうちに粘土の扱い方が分かってきて楽しくなってきました。大変なことたくさんあり、お椀を作ったときは形を形成するのがすごく難しく苦労しました。また、お椀の底の部分の針などで形を整えるのにとても時間がかかりました。日常で使えるものばかり作ったので、日常の生活でいつも使っています。陶芸を選んで良かったです。陶芸をやったことがなくて心配でしたが、とにかく楽しく終えることが出来ました。またどこかの機会に陶芸があるときは必ず参加して、今回学んだ様々なことを生かせると良いです。

●刻字

3年

金田 隼人

安城北中学校出身

経験したことのないものをやりたいと思い刻字を選びました。改めて思い出すと荒い部分ばかりでしたが、何度も繰り返すうちにスムーズにできるようになり、時間を忘れてチャイムの音に気付かずにいることもありました。最後の作品は早く終わってしまい、もう終わりなのかと驚きました。彫るだけでなく習字もあり、苦手だったので少し投げやりになることもありましたが、先生が丁寧に教えて下さったので上手に書くことができました。賞状も戴き、苦手を克服できました。この経験を生かしていきたいです。これまで教えて下さった先生には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

●油彩

3年

鳥居 まみ

新川中学校出身

ちょうど一年前、先輩たちの油彩の作品を観てすごく楽しかったのを覚えています。当時は自分にこんな大きなキャンパスにちゃんと完成させられるかととても不安な気持ちと、早く描きたいという気持ちが入り混じっていました。いざ始めると、キャンパスが大きいぶん絵具が途中で足りなくなったり、制服に飛び散ったり大変でした。描いているうちに自分の理想と現実が違って壁にぶち当たったりしましたが、先生からアドバイスをもらい、なんとか完成できました。色々大変でしたが、とてもいい経験でした。周りの人たちの絵を観たりするのも良かったですし、とても楽しい雰囲気の中で集中できたと思います。ありがとうございました。

●創作ダンス

3年

坂本 陽花里

依佐美中学校出身

総活が始まったころは、とてもワクワクしていました。どんな作品になるのかすごく楽しみでした。構成とか振りとか覚えられないか不安でしたが、練習していくうちに不安はどこかに消えていきました。部活で大会の時期が近いときはとても大変でした。お昼に部活をやって、5・6時限に創作ダンス、授業後に部活というハードスケジュールな時もあり、体力がない私はとても苦労しました。倒れて練習に参加できない時は、みんなから遅れていく自分が嫌になりました。振りが全部完成して、最初から全部踊ったときは嬉しさがこみ上げてきました。構成付きでやったときは、全体像がはつきりしてすごく感動しました。リハーサルの時は床が滑ったので、本番にすべらないか心配したけど、きちんと踊れてよかったです。部活の発表の時はいつもすごく緊張するけれど、今回は全然緊張しなくて、のびのびと楽しんでやれました。たくさんの人が見てくれて嬉しかったです。高校生活で最高の思い出になりました。1年間ありがとうございました。

●料理研究

3年

杉村 良樹

安城西中学校出身

今日は今までにないぐらいの料理の数と量を作りました。かなりお腹いっぱいになり、とてもとても幸せです。僕はオールドファッションを作る担当でした。一緒に作ることになった山浦さんと共にとても素晴らしいオールドファッションを作り上げることが出来ました。しかし最初は火加減が難しく割れてしまったり、こぼしてしまったのでうまく出来ませんでしたが、やっていくうちに揚げ物に慣れて上手く作れるようになりました。味も最高でした。同じ班の作った料理の量がとても多く、それにすごくおいしかったのでよかったです。1年間料理研究をしてきて本当に楽しかったですし、良かったと思います。料理研究で磨いた料理のセンスをいかしてもっと料理していきたいです。1年間ありがとうございました。

●食育

3年

高木 陽菜

大高中学校出身

ジュースに含まれる砂糖の量、カロリー、正しいダイエットの方法など今までに知らなかったことをたくさん学ぶことが出来ました。箸の持ち方や、ハイブリットレシピは実際にやってみてとても楽しかったです。今まで家庭科で習ったこと以外にもたくさんの知識が身に付きました。また、ビデオで見たフェアトレードや拒食症、食品の偽装などこれからの生活、大学での勉強に活かしていきたいです。今まであまり気にしていなかった五感も、これから意識していきたいです。拒食症や過食症にも気を付けて、ダイエットもしていきたいです。総活で食育を選んでよかったなと思いました。たくさんの貴重な経験が出来て良かったです。1年間、本当に有難うございました。

響きあうまちと学校

合唱部クリスマスコーラス

2015年12月24日(木)

安城デンパーク・フローラルプレイス

3年

中島 ペアトリス

安城北中学校出身

今回、クリスマスコンサートをデンパークで行うのは3回目ですが、改めて歌でたくさんのことができると感じました。私たち合唱部の今年度の目標は「聴いてくださる方と心を1つにし、楽しめる歌」。その目標でたくさんの場所で歌をうたってきましたが、それが一番実感ができたのがクリスマスコンサートでした。1日で2公演を行いました。2公演ともお客さんが笑顔で聴いてくださって、コンサートが終わって1人のお客さんが私たちに寄ってきて「最高のクリスマスをありがとう!」と言って下さいました。その時に私は歌の力って凄いなと改めて強く思いました。2月には3年生にとっては最後の舞台となる定期演奏会があるので、そこでも良い演奏会になるようにしていきたいと思います。



弦楽部クリスマスコンサート

2015年12月22日(火)、23日(水)

安城デンパーク・フローラルプレイス

3年

三浦 綾香

幸田南部中学校出身

私たち弦楽部は、年末の12月22日、23日の両日、愛知学泉大学岡崎学舎と安城市デンパークにて、クリスマスコンサートを行いました。今年はデンパークでのある出会いが、私にとってとても良い思い出になりました。私たちが朝から会場の準備をしていると、ひとりの車イスに乗ったおじいさんが私の所に来て下さり「頑張れよ、楽しみにしてるでな。」と何度も声を掛けて下さいました。「私たちのコンサートをこんなにも楽しみにして下さいる人がいるんだ。」と、私はとても嬉しく感じました。本番では、老若男女、たくさんの方がいらして、私たちの演奏を楽しんでいただきました。私たちの演奏でお客様が笑顔になって下さり「音楽の力は本当にすごいな。」と改めて感じました。



全国盲学校野球(グランドソフトボール)全国大会 インターアクトクラブ運営ボランティア

2015年8月19日(水)~21日(金) 岡崎市中央総合公園競技場

1年

犬塚 琴音

六ツ美中学校出身

目が見えない人たちの ソフトボール全国大会に涙

全国盲学校グランドソフトボール大会、すなわち目の見えない人たちがプレーするソフトボール大会です。このような大会があることを知らなかったので今回インターアクトクラブで運営ボランティアをして色々なことが出来るのだと思いました。事前に目が見えないと聞いていたので、どのようにプレーをするのか疑問ばかりでした。ボールを投げることはできないし、音だけで判断すると聞いて、ボールの中に鈴でも入っているかと思いましたが、鈴などは入ってません。実際に試合が始まると、選手は音だけが頼りで、ボール(ハンドボールより少し大)が地面に着地した所がどこなのか?どこへ転がっていくのか?などすべて耳で判断しなければなりません。したがって試合中は静かにしたり、足音を立ててはいけないというルールがあります。選手達のボールを追う一生懸命なプレーには本当に感動し涙があふれました。私たちは目が見えることが当たり前だと思っているので色々できるのは当然ですが、目が見えなくても出来ることはたくさんあり一緒なんだと思いました。



東北ボランティア活動

12月26日(土)~29日(火)

宮城県気仙沼市・南三陸町

東日本から学ぶ 東北ボランティア

野球部

2年

道下 颯斗

安城南中学校出身

「生きることの大切さ」

今年も野球部と男子サッカー部で12月26日から29日までの4日間、東北ボランティアに参加させていただきました。被災地の現状に触れ、そこで感じたものを大切にしたいと思い出発しました。東北に着いたとき、景色を見ただけでは、昨年と大きく変わらず復興が進んでいるようには見えませんでした。しかし、話をしてくださった全ての方から、「生きる」ということの大切さ、「生きる」ことの意味をその表情から強く感じました。東北から離れて住んでいる僕たちに出来ることは本当にたくさんあります。実際に現地に行くこと、募金活動への参加、震災を忘れないという思い、今回のボランティアでそのことを再び感じる事が出来ました。震災からもうすぐ5年が経ちます。被災地の方々が心から笑える日が一日でも早く来ることを願いたいと感じたボランティア活動でした。

男子サッカー部

3年

松本 将暉

刈谷南中学校出身

「東北の人たちの強さ」

景色を見た感じは、この3年間で復興は大きく進んでいると感じました。特に南三陸は全く違う景色が広がっていました。今回のボランティアでは海岸清掃をしました。1年生の時も海岸清掃をしましたが、同じくらいゴミは多かったと感じました。この海岸は清掃されていなかったわけではなく、地域の方々が毎週清掃されてきました。それにもかかわらず、たくさんのゴミがありました。復興は進んでいても、震災の影響で汚れてしまった街や海はなかなか回復しないと感じました。また、月に一回海に潜って捜索している方に話を聞いたところ、海の色はほとんど昔に戻ったけれど、海の中はゴミだらけと言っていました。復興はまだ時間がかかると思います。しかし、昔のように戻りたいという人ばかりで諦めている人はいませんでした。そういう東北の人たちの「強さ」を感じました。

「被災した記憶」

3年

松山 光一

刈谷東中学校出身

工事が止まっている場所を見て考えさせられました。お金の使いどころなんだと思います。東北を復興させようとどれだけ国が考えるか、そこなんだと思います。また、南三陸では、去年と違い10mの盛り土をしてありました。被災した記憶をこうしてどんどん忘れていってしまうのだらうと思いました。自分たちが少しずつ復興のお手伝いができているなら、これからも参加したいと思いました。

「前に進む」

3年

神谷 優誠

雁が音中学校出身

ゆず農家のおばあちゃんが「元氣そうに見えるかもしれないけど、そうしていないと前に進めない」というようなことを自分に言ってくれました。その言葉にすごく共感しました。何か壁にぶつかってもそこで何もしずに止まっていたは何も進歩はない。とにかく改善し続けることが大切だと考えさせられました。南三陸では、気仙沼と違い、目に見える形で復興をしていました。バスで通るところの右も左もほとんどの場所に土の山がたくさんありました。あれがどんどん増えていき最終的には今ある場所が土の中になり、震災があったことなど忘れるぐらいのところになるのかなと思います。復興することもいいけど、そのせいで震災があったことが忘れられることは非常に怖いことだと思います。それを防ぐのが、僕たちだと思います。3年も行かせて頂いたことに感謝して、少しでも周りの人に伝えていきたいです。



「被災地とオリンピック」

2年

長澤 吟遊

依佐美中学校出身

去年と街があまり変わっていないことに驚きました。被災地の人はまだ苦しんでいるのに、日本はオリンピックに目を向けています。南三陸町の病院は5年たってようやく完成しました。総額56億円(そのうち22億円は台湾の赤十字組織からの寄付)。今、日本で話題になっている新国立競技場は2000億。一番良いお金の使い方が何なのか、僕はよくわからなくなりました。でも、一つわかることは、被災者の皆さんの気持ちです。

「出来ることは伝えること」

2年

安藤 大貴

安城南中学校出身

1番自分たちが驚いたのは、去年通った道路がなくなっていたことです。南三陸は新しい道や高さ10mの土が盛られていたりと変わっていました。今後この高さに街が出来ると聞いて想像がつかないです。自分たちに出来ることは伝えることだと思います。今回のボランティアをきっかけに、自分は将来ボランティア活動に参加したいと思いました。高校を卒業しても続けたいです。

プロジェクト イア活動

弦楽部 東日本と愛知をつなぐコンサート

2015年12月25日(金)～28日(月)



「音楽の力!」
3年
松島 茉雪
富士松中学校出身



12月25日から28日までの4日間、宮城県気仙沼市と岩手県大船渡市に復興支援演奏旅行をしました。現地では演奏だけでなく、実際に津波の被害を受けた旧防災センターや気仙沼向洋高校に行き、被災者の方々の生の声を聞きました。私たち3年生は今回で3度目ですが、復興状況はあまり進んでおらず、年々ボランティア活動が減ってきていて、どんな形であれボランティア活動に来てくれるのが嬉しいという話を聞き、これからも復興支援コンサートを続けていきたいと強く思いました。また、演奏では「明日という日が」、「花は咲く」という曲などで、口ずさみながら聞いて下さった方、涙を流しながら聞いてくださる方々がいらして、改めて音楽の力はすごいと実感しました。



第28次創作ミュージカル 「黄金色(きんいろ)の明日」

2016年4月9日(土) 安城市民会館にて一般公演

生徒会主任
和田 圭吾

今年のミュージカルは「黄金色(きんいろ)の明日」です。難民問題に揺れるある国に住む主人公のヒロは、突然祖父から送られた黒の森の権利書に困惑します。その権利書をめぐりリンクスらと知り合ったヒロは、どこか他人事であった難民問題に真剣に取り組むことになります。「今まで他人(ひと)事だと思っていたことが、自分の事のように思えるようになった方が、人生がよく見える。」他人事を自分事にしたことで本当に賢く成長する若者の姿を描いたミュージカルになっています。

今年に入り、キャスト・スタッフ共に本格的に動き出しました。1月23日(土)、24日(日)には恒例の「書き割り」作業を終え、素晴らしい背景が出来上がり、2月12日(金)の卒業フェスティバル本番を無事に終えることができました。4月9日(土)には安城市民会館で一般公演を行います。元気あふれる高校生の舞台を是非ご覧ください。



クラブ活動報告

女子バスケットボール部



ウィンターカップ ベスト8

2015年12月23日～ 東京体育館

3年
高橋 華菜
志茂田中学校出身

私たち女子バスケットボール部は、東京体育館で行われたウィンターカップ第46回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会で、ベスト8という結果を残すことができました。2年連続ベスト4は逃してしまいましたが、コートに立った選手やベンチにいた選手、先生方や応援して下さった皆さんと心をつなぐことができ、とても良い経験になりました。ここまで指導して下さった方々や応援して下さった保護者の方々、皆さんにとっても感謝しています。本当にありがとうございました。3年生はウィンターカップが最後の大会となり、これで引退となりましたが、これからも女子バスケットボール部の応援よろしくお願いします。

ソフトボール部



第61回全国私立高等学校女子ソフトボール選抜大会出場決定

2016年3月25日～ 愛媛県今治市
今治市営球場・波方運動公園・玉川公園グラウンド

2年
竹内 美空
明豊中学校出身

私たちソフトボール部は、3月25日から愛媛県今治市で行われる第61回全国私立高等学校女子ソフトボール選抜大会に出場できることになりました。去年は1部に進むことができず、悔しい思いをしました。いつも支えて下さっている先生方や保護者の方々、先輩方への感謝の気持ちを持って恩返しができるよう、一人ひとりが今まで以上に真剣に取り組み、春から始まるインターハイ予選に向けてこの大会で結果を残し、良いスタートを切って自信に繋げていきたいです。チーム一丸となって全力で戦ってきます。応援よろしくお願いします。

陸上競技部

3年
杉村 良樹
安城西中学校出身

陸上部の中でも長距離ブロックは冬期になると各地域で行われるマラソン大会や駅伝大会に出場しています。今年度は豊田マラソンに始まり、安城シティマラソン、一色マラソン、にしお駅伝フェスティバル、全三河駅伝などたくさんの大会に参加させていただきました。その中でも2連覇できた一色マラソンは特に嬉しかったです。また、初めて男子もにしお駅伝フェスティバルに出場でき2位という嬉しい成績を残せました。女子も優勝し、仲間みんなの笑顔が見られて、チームを引っ張る立場でもあった僕はとても嬉しかったです。この3年間で振り返ると、毎日練習に没頭し、自分でもわかるほど大きく成長できました。指導して下さった先生方や一緒に戦った仲間の存在のおかげです。日々のサポートや大会の応援に駆け付けてくれた家族も大きな支えであり、励みでした。皆さんに感謝の気持ちでいっぱい입니다。僕はこれからもできる限り走り続けていきます。そして大切な後輩たちには、僕が感じたように嬉しい気持ちや楽しい気持ち、時には悔しい気持ちなど色々な気持ちを味わって大きく成長してほしいです。

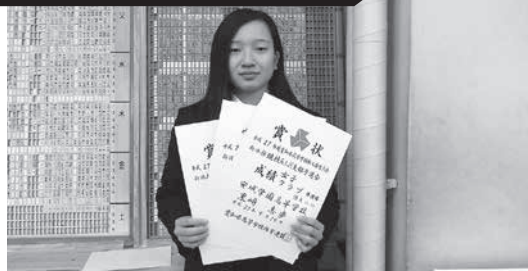


2年
伊藤 可奈
蒲郡中学校出身

私は長距離ブロックマネージャーとして活動しています。マネージャーとして①選手のタイムを計測し練習の効果が最大限になるように努める。②練習後の選手の体のケアでマッサージを行いケガ予防に努める。③選手が練習しやすい環境づくりのために準備・片付け、清掃を行う。④選手の表情や走りを見て心のケアを行う。などを行っています。成果が表れ、女子は県駅伝で6位入賞し東海駅伝に初出場できました。念願の県駅伝入賞の歓喜に沸いた表彰式のあとキャプテンが賞状を私に手渡してくれました。選手みんなの走りで獲得した賞状を、走ってもいない私に…。顔をあげるとみんなの笑顔に囲まれ胸がいっぱいになりました。また、安城シティマラソンでは1位から8位の表彰台を安城学園高校で独占し日々の努力の成果が出て嬉しかったです。マネージャーはその場の状況に応じて判断して行動できないといけなので大変ですが、選手から「ありがとう」の言葉や「自己新出たよ!」「県大会行けるよ!」などの報告は本当に嬉しいし「私も頑張ろう!」と思えます。そして何より選手も私も一生懸命努力するからこそ得られる喜びや感動は大きく、人間成長もできるのだと思います。陸上競技部は来シーズンはさらにレベルアップするはず。みなさん応援よろしくお願いします!



新体操部



三河新人戦大会

2015年9月19日(土) 豊田スカイホール

1年
黒崎 志歩
依佐美中学校出身

私は、9月行われた「新体操三河新人戦大会」で2位という成績をいただくことができました。本番では、緊張しながらも自分の最大限の演技をすることができました。2位という結果をいただけたことで10月31日の県大会にコマを進めることができました。この大会を通して思ったことは、毎日の練習がとても大事なことということです。自分に厳しく、どうしたら更にレベルアップできるのかを考えて取り組むことや努力をし続ける大切さを学びました。今年は昨年よりも良い成績がいただけるように頑張っていきたいと思います。



大会・試合結果 2015年11月～2016年2月

◇男子バスケット部

- ・平成27年度愛知県高等学校新人体育大会
西三河予選会(1/16～23) 3位
愛知県大会(1/30～2/6)
- ・ウインターカップ愛知県予選(10/31～11/8) 3位

◇女子バスケットボール部

- ・ウインターカップ愛知県予選(10/31・11/1・7・8) 優勝
- ・ウインターカップ(第46回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会)
(12/23～26) ベスト8
- ・東海総合バスケットボール選手権大会(11/21・22) 準優勝
- ・平成27年度西三河地区新人体育大会(1/16・17・23) 優勝
- ・平成27年度愛知県高等学校新人体育大会(1/30・31・2/6) 3位
- ・平成27年度東海高等学校新人体育大会(2/13・14) 4位

◇卓球部

- ・平成27年度愛知県高等学校新人体育大会(11/22・23) 5位
- ・平成27年度東海高等学校新人体育大会(12/23～25) 出場
- ・平成27年度西三河高等学校学年別卓球大会(1/30)
1年女子 加藤 華(岡崎北)3位
2年女子 濱口乃愛(六ツ美)2位 東野 望(設楽)3位
- ・平成27年度愛知県高等学校学年別卓球選手権(2/11)
2年女子 鴨井詠美(竜南)3位

◇陸上競技部

- ・第48回安城シティマラソン(12/13)
一般女子3km
1年 宇野佑紀(常磐)1位 2年 塚本 茜(平坂)2位
1年 鈴木梨花子(上郷)3位 1年 下原 渚(朝日)4位
1年 杉本美侑(矢作)5位 2年 橋本青空(矢作)6位
2年 上村愛子(蒲郡)7位 1年 長坂夏歩(翔南)8位
一般女子10km
3年 奥村麻友(逢妻)1位
一般男子10km
2年 山本悠斗(矢作)3位 3年 杉村良樹(安城西)4位
・西尾駅伝フェスティバル(12/20)
一般女子優勝
1区1年 宇野佑紀(常磐) 2区2年 塚本 茜(平坂)
3区2年 上村愛子(蒲郡) 4区2年 橋本青空(矢作)
5区3年 奥村麻友(逢妻)
一般男子2位
1区3年 杉村良樹(安城西) 2区1年 大塚 翼(安城北)
3区2年 山本悠斗(矢作) 4区1年 富樫音緒(依佐美)
5区3年 生田稔貴(碧南南)
・全三河駅伝大会(1/10)優勝
1区1年 宇野佑紀(常磐) 2区2年 塚本 茜(平坂)
3区2年 上村愛子(蒲郡) 4区2年 橋本青空(矢作)
5区3年 奥村麻友(逢妻)
・第51回一色マラソン大会(1/24)
一般女子5km
1年 宇野佑紀(常磐)1位 1年 杉本美侑(矢作)2位
1年 下原 渚(朝日)3位 2年 上村愛子(蒲郡)4位
2年 橋本青空(矢作)5位
高校男子5km
3年 杉村良樹(安城西)1位 2年 山本悠斗(矢作)3位
・日本ジュニア室内陸上競技大会(3/12・13)大阪城ホール
出場予定 1年 古橋佳奈(桜田) 60mH、宇野佑紀(常磐)1500m

◇ソフトボール部

- ・第61回全国私立高等学校女子ソフトボール選抜大会(3/25～29)
出場決定(愛媛県今治市宮球場・波方運動公園・玉川公園グラウンド)

◇女子バレー部

- ・西三河高等学校バレーボール選手権大会(12/19・20) ベスト8
- ・西三河高等学校新人戦体育大会(1/10・11) 準優勝
- ・県大会(2/6) ベスト16

◇バドミントン部

- ・愛知県高等学校学年別バドミントン大会(県大会)(1/9～11・1/23)
1年女子シングルス
ベスト32 佐久間璃子(大府北)・藤綱玲奈(東山)・大城憂奈(矢作)
1年女子ダブルス
ベスト8 佐久間璃子(大府北)・藤綱玲奈(東山)
ベスト16 大城憂奈(矢作)・小田朱莉(大府)

◇ハンドボール部

- ・愛知県高等学校新人体育大会西三河予選(11/8・11/14) 2回戦

◇野球部

- ・第3回愛知県高等学校野球1年生大会(11/14) ベスト16
- ・東北ボランティア 宮城県気仙沼市・南三陸町(12/26～29)

◇男子サッカー部

- ・東北ボランティア 宮城県気仙沼市・南三陸町(12/26～29)
- ・新人戦 西三河予選(1/9・10)2回戦

◇女子サッカー部

- ・愛知県高校リーグ1部(6月～12月)準優勝
優秀選手 加藤 遙(岐阜緑ヶ丘)・得点王 都築麗緒奈(乙川)
- ・愛知県高等学校新人体育大会(1/16～2/13)準優勝
- ・第4回AIFAアウォーズ2015 年間優秀選手(高校の部) 福井しおり(佐屋)

◇吹奏楽部

- ・第28回全日本マーチングコンテスト全国大会銀賞「5年連続出場」
大阪城ホール(11/22)
- ・オーストラリア・ウィーン演奏旅行(12/21～27)
- ・第39回全日本アンサンブルコンテスト 西三河南地区大会パティオ池鯉附(1/11)
クラリネット4重奏8A 金賞・代表 管打8重奏 金賞
木管5重奏 金賞 サックス4重奏B 金賞
サックス4重奏A 金賞・代表 クラリネット8重奏 銀賞
金管8重奏A 金賞・代表 フルート4重奏A 金賞
金管8重奏B 金賞 フルート4重奏B 金賞
- ・第39回全日本アンサンブルコンテスト県大会 常滑市民会館(1/24)
クラリネット8重奏 金賞・代表
サックス4重奏 金賞
金管8重奏 金賞
- ・第27回中部日本個人・重奏コンテスト西三河南地区大会(2/6)
管打10重奏1位 金賞・代表 サックス8重奏2位 金賞・代表
クラリネット8重奏3位 金賞・代表
アルトサックス個人 山田悠維(高浜)1位 金賞・代表
フルート個人金賞・オーボエ個人銀賞
- ・朝日アンサンブルコンテスト東海大会 静岡市清水文化会館(2/7)
クラリネット8重奏 銀賞
- ・第56回定期演奏会 安城市市民会館(2/13)・刈谷市総合文化センター(2/14)

◇合唱部

- ・安城デンパーククリスマスコンサート(12/24)
- ・第22回愛知県ヴォーカル・アンサンブルコンテスト(混声・銅賞・同声・銀賞)(1/11)
- ・第11回定期演奏会 知立リリオコンサートホール(2/13)

◇弦楽部

- ・日本学校合奏コンクール
グランドコンテスト全国大会 銅賞 千葉県文化会館(11/14)
- ・夢のさなか(11/23)
- ・第九コンサート(12/13)
- ・安城デンパーククリスマスコンサート(12/22)
- ・地域交流コンサート岡崎(12/23)
- ・東北復興支援コンサート(12/25～28)
- ・第21回定期演奏会 安城市文化センター(2/13)

◇書道部

- ・高文連 東西三河地区書道展(1/19～24) 出品

◇美術部

- ・第30回高文連美術・工芸専門部西三河支部展(1/26～31) 出品

◇演劇部

- ・西三第二地区合同発表会 優秀賞 パティオ池鯉附(12/19・20)

◇箏曲部

- ・愛知県高等学校文化連盟 日本音楽部門 第30回発表会(箏曲・能楽 県大会)
「箏二重奏 春の海」演奏 奨励賞 名古屋市青少年文化センター(1/9)

◇新体操部

- ・平成27年度愛知県新人体育大会西三河支部予選 スカイホール豊田(9/19)
1年 黒崎志歩(依佐美)個人総合2位
- ・同県大会出場 碧南臨海体育館(10/31)
1年 黒崎志歩(依佐美)

Topics1

陸上競技部

『オリンピック育成選手に選ばれて』

3年 中野真琴 豊橋東部中学校出身

日本陸上競技連盟は東京オリンピックでの活躍が期待されるU19世代のトップアスリートたちを「オリンピック育成競技者」として指定し、強化・育成を行っています。そのオリンピック育成選手に私が選ばれたときは、とてもとても嬉しい思いと、驚きと…そして本当に自分が選ばれて良いのかというプレッシャーからくる不安もありました。第1回育成合宿は3泊4日東京で行われました。今までライバルとして闘ってきた日本トップレベルの高校生が集い、一緒に過ごすことは自分にとって大変良い刺激になりました。合宿を終えるころには、抱いていた不安はなくなり「自分もここに選ばれたんだ」という自覚と「自分も日本のトップを走って行けるよう頑張ろう」という闘志に変わりました。私がオリンピック育成選手にまで成長できたのは安城学園高校での3年間であったからだと思います。中学生までの私は「仲間のために頑張る」とか「応援してくれる人がいるから頑張れる」という実感がもてませんでした。そのせいで高校入学当初は周囲に迷惑をかけたと思います。しかし、安城学園高校陸上部の『仲間愛』『先生、コーチとの信頼感』が私を変え「今自分が走れているのは周囲の方のおかげ」と心から思えるようになりました。先生、コーチ、両親、仲間には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。私はこれからも感謝の気持ちを忘れず、今自分が走れていることを当たり前前に思わず、トップを目指して頑張っていきます。



Topics4

女子サッカー部

高校選手権県大会第3位

2015年9月20日(日)～10月17日(土)

名古屋経済大学他

3年 鳥居幸生 青山中学校出身

高校選手権県大会は三年生にとって引退のかかった最後の大会でした。苦しい時もありましたがこの大会のために練習を重ねてきました。上手いかわいことも数多くあり



ましたが予選リーグを一位通過、準々決勝で松蔭に勝利し、準決勝では同朋高校と対戦でした。延長までもつれましたが2-3で敗れました。しかし試合中はがむしゃらに声を出して、一人一人が仲間のためにプレーできたと思います。負けたことが悔しいというよりもこのチームでの仲間と一緒にサッカーが出来なくなることが一番辛かったです。結果は3位でしたが、それ以上に得るものは大きかったです。目標としていた東海大会出場を叶えることが出来なかったのが後輩たちには叶えてほしいです。今まで沢山の人の支えてもらいサッカーをすることができて幸せでした。女子サッカー部で過ごした三年間でかけがえのない仲間に出会い、最高の青春が送れたことを誇りに思います。

Topics2

吹奏楽部

オーストリア・ウィーン演奏旅行

2015年12月21日(月)～27日(日)

ウィーン楽友協会ホール Muth

3年 重光由衣 前林中学校出身

私たち吹奏楽部はウィーンコンサートのため、12月21日から12月27日までオーストリアのウィーンへ行き、ウィーン楽友協会ホールとMuthで演奏をしてきました。ウィーン楽友協会では、ホールがいっぱいになるほどの多くの方が聴きにきてくださいました。日本の私たちの演奏を海外の方々に受け入れていただけるかととても不安でしたが、最後にはスタンディングオベーションで演奏会を終えることができました。Muthでは、演奏中に涙を流すお客さんの姿を見て、とても嬉しい気持ちになりました。2つの演奏会を通して、言葉が通じなくても音楽でつながることができるということを実感し、とても良い経験ができました。これからも、音楽を通してたくさんの方とつながれることに感謝し、出会いを大切に活動していきたいと思います。



Topics3

英検準1級合格・TOEIC895点

2015年11月13日・2015年12月13日

2年 デキニャ・フロレンティン 富士松中学校出身

私は1年生の1学期に英検2級を取得しました。そして2年生の1学期に英検1級を受験しましたが結果は不合格でした。しかし私は、その後もあきらめずに勉強を続け、2学期に準1級を合格することができました。今は英検1級合格に向けて勉強し、再び挑戦したいと思います。同じく2年生の2学期にGTEC CBT(聞く・読む・話す・書くという英語の4技能が多角的に測定できる英語力テスト)に挑戦して1400点満点中1201点を取ることとTOEICも895点を取ることが出来ました。

これは全て努力した証だと思っています。将来、自分の就きたい仕事に向けて、今以上に頑張り、夢を叶えたいです。



Topics5

インターアクトクラブ

オーストラリア海外派遣研修に参加して

2015年7月23日(木)～7月31日(金)

3年 山口咲良 前林中学校出身

3年 細美菜摘 豊南中学校出身

インターアクトとはインターナショナルアクション、すなわち国際交流とボランティアのクラブです。私たち2名は2015年7月23日～7月31日に安城学園を代表して、国際ロータリー第2760地区インターアクトクラブ海外派遣研修に参加しました。行き先は世界一住みたい都市第1位と言われたオーストラリアの西海岸パースです。愛知県にはインターアクトクラブが17校あり、各校の代表合わせて31名で6月と7月の2回の国内事前合宿を経て出発しました。パースではニューボロー小学校、ケアリー高校、パースCOMOロータリークラブ&ローターアクトクラブとの交流があり、大きく成長することができました。研修を通して国内にもオーストラリアにも多くの新しい仲間との絆ができたことは、私たちにとって最大の財産になりました。

